

# 除去食試験の流れ

かゆみの原因を探りましょう



## [除去食試験をおこなう前に]



あらかじめ、「寄生虫」や「細菌」「カビ」の感染がないか検査し、治療します。

感染がなく、症状が残る場合は、除去食試験でかゆみスコアの変化から食物アレルギーの関与を診断します。

## 除去食試験の流れとポイント 8週間の除去食試験でかゆみの原因を探ります。



Vet Derm Tokyo  
アジア獣医皮膚科専門医  
伊従 慶太 先生

### ① 症状の記録

・裏面の問診票を使い、症状を明解に記録(かゆみスコア、写真など)

### ② 除去食試験の開始

・現在食べているフードから、除去食の選択

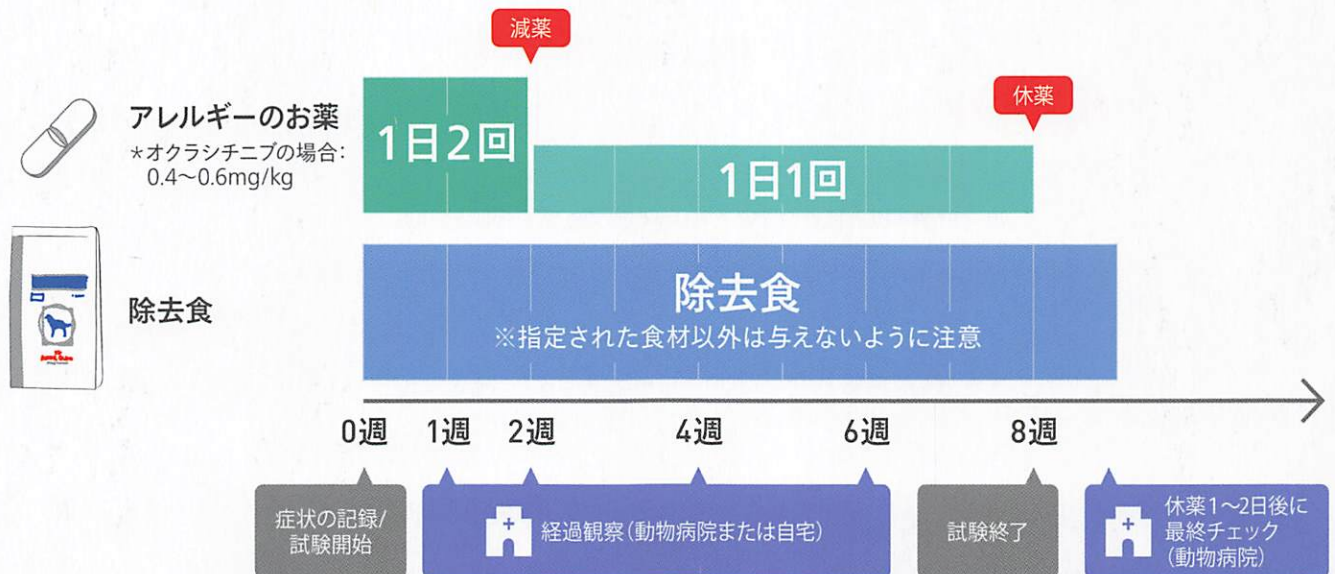
### ③ 経過観察

・8週間かけ、試験がきちんとできているか+かゆみのチェック

### ④ 減薬・休薬をおこなった経過観察

・2週目に減薬

・8週目での休薬の後に、かゆみスコアの変化を最終チェック



## 試験の結果 除去食試験の結果に合わせた治療を選択します。

かゆみが戻る



犬アトピー性皮膚炎

皮膚のバリア機能改善を  
優先して食事を選択

かゆみが一部戻る



食物アレルギー+犬アトピー性皮膚炎

食物アレルギーへの対応を優先して食事を選択

かゆみがぶりかえさない



食物アレルギー

# 除去食試験問診票

この問診票を印刷して  
ご使用ください。

この問診票は、ワンちゃんのかゆみの原因を知るためのものです。  
ワンちゃんのかゆみの状態や食事の状況を正確にご記入ください。

## Q1. 皮膚のかゆみの強さを0～10段階で表したとき、 いくつに当てはまりますか？

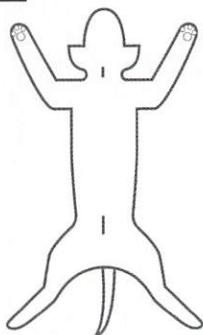
チェックしましょう

かゆみスコア			
<input type="checkbox"/>	10		<b>きわめて重度/持続的なかゆみ</b> どのような状況でもかゆみが止まらない (かゆみ動作を制止する必要がある)
<input type="checkbox"/>	9		
<input type="checkbox"/>	8		
<input type="checkbox"/>	7		<b>重度/長期間にわたるかゆみ</b> 睡眠、食事、散歩、トレーニング中に かゆみが認められる (気をそらしてもかゆみが認められる)
<input type="checkbox"/>	6		
<input type="checkbox"/>	5		
<input type="checkbox"/>	4		<b>中程度/頻回のかゆみ</b> 睡眠中にかゆみはあるが、食事、散歩、 トレーニング中には認められない
<input type="checkbox"/>	3		
<input type="checkbox"/>	2		
<input type="checkbox"/>	1		<b>軽度/ときおりのかゆみ</b> 皮膚症状が出てからかゆみが 少し多くなった
<input type="checkbox"/>	0		<b>正常</b> 問題となるかゆみはない

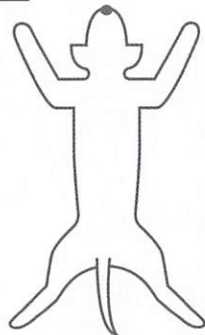
## Q2. かゆみを起こしている 部位はどの辺りですか？

○などで、印をつけてください

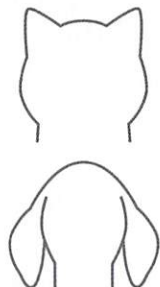
腹部



背部



顔



## Q3. 現在の食事やおやつについて 詳しく教えてください。

ペットフード(製品名)

おやつ(製品名・内容)

お薬・サプリメントなど(名前)

※チュアブル錠・ハミガキガムなどもご記入ください。

その他食べたことがある可能性のある  
ものはありますか？ 例:  お肉(鶏肉)

- |                                |                                 |
|--------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> お肉( ) | <input type="checkbox"/> お魚( )  |
| <input type="checkbox"/> 穀類( ) | <input type="checkbox"/> 野菜( )  |
| <input type="checkbox"/> 果物( ) | <input type="checkbox"/> その他( ) |